

五感チップについて

前回の実験では、出店者からの資金徴収を試み、今回は実験の趣旨にご賛同いただいた来場者の皆様に募金をお願いしました。いずれも今後の古町地区での実証実験の開催・運営に使わせていただく目的であり、アンケートでは概ね9割の方にご支持いただきました。

1割の方は「賛同しない」「わからない」という回答であり、その1つに「Doをやった方が早い、未来はわからないから(原文ママ)」というご意見がありました。Doとは「ふるさと納税 do (ふるさと納税業務管理システム)」のことでしょうか。企画段階では「募金」ではなく、まさに「ふるさと納税」やサービスに対する「対価」のような感覚でご協力をいただけないかを模索していました。今後は、ひとつの事業や、もしくは一定のエリア内での資金の循環についてシステム化していく仕組みづくりが望まれます。

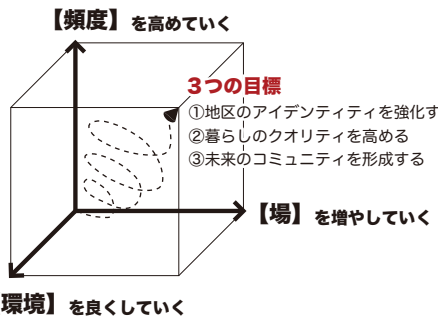
主な意見／いいと思った／いい取り組みだとおもった／たくさん体験できるから良い／気軽に募金できてよい／子どもたちにいるいろんな体験をさせてもらえたのがんばってほしい／おもしろいと思う／いい取り組み、ずっと続けてほしい／チップを払うことによって、その事業への愛着が湧く／古き良をことを現代の型で再活用されているので良いと思います

実験の評価方法について

ロジ実験では、工作や音楽、まちへの提案、スポーツやゲーム、まち歩きなど、文化的な取り組みを通して、交流を促してきました。そもそも「文化」とは、いわゆる芸術を嗜むという狭義な意味でのみ捉えず、人々が知恵を出し合い、生活を維持し、暮らしを向上させるために、人々が共有している日々の営みであると捉えます。ですので「文化的」とは、人々が前向きに協力しながら暮らしの仕組みづくりに知恵を出し合っている様子であるとも言えます。五感散歩の取り組みは「まち」へのアプローチであり、充足したコミュニティに属することで「私」が幸せを実感できるというロジックですので、人々が幸せになっていくプロセスを構築することに挑戦し、その有効性を証明しようとしているところにも実験の動機があります。「楽しい」「続けてほしい」というご意見をいただく中で、実験の定量的な評価の方法を開発していくことが望まれます。その過程において、皆が描く未来の姿が見えてきて共有されるのかもしれません。

今後の展望

- 点(場)の展開
取り組みが行われる点(場)を増やしていくことが望まれます。複数の場が連鎖して面的な界限性を生み出すことで、古町地区のアイデンティティに繋げていきます。
- 日常化への動き
2023年の第3回開催で検証した「軽い運営」を活かし、定期開催や開催回数の拡大に向けて試行することが望まれます。
- 設えの良質化
設えを整える上で「仮設」という難しさがありますが、さらに工夫して良質な環境を提供することが望まれます。



発行・主催 ○ 2025年1月／熊本市、一般社団法人KIMOIRIDON、熊本大学工学部土木建築学科、独立行政法人都市再生機構九州支社
【会場協力】出田眼科病院／株式会社コウナン・レクセル／大生ファミリー株式会社／藤丸邸 【運営協力】株式会社 urban direction／合名会社早川倉庫
【プレイヤー協力】九州ルーテル学院大学人文科学部本研究室+有志／熊本市五福小学校／熊本大学教育学部中迫研究室+有志／熊本大学工学部土木建築学科星野研究室・本間研究室／ASIPA／colorful coffee／株式会社キッシュコーポレーション／凹凸 Tacos／陽月堂／馬場道浩氏(写真家、日本大学藝術学部写真学科非常勤講師)／心光寺
8 お問合せ先 ○ 熊本市都市デザイン課 電話:096-328-2508／一般社団法人KIMOIRIDON E-mail:contact@kimoiridon.com



「五感散歩」とは、古町地区を対象にした、地域のより良い暮らしの提案を行うための社会実験です。地域資源や駐車場などの低未利用地を有効活用し、地域課題である子どもの遊び場不足などに対応しながら開催しているロジ実験は、今回で5回目の開催となり、「キャンパス」をテーマに様々な取り組みを展開しました。

<ロジ・キャンパス>のねらい

- 今後のロジネットワークの形成に向けて対象エリアの拡張を試みるため、古町のまち歩きを展開し、別事業での同時開催による町屋を会場とした実験を追加しました。(近接の旧呉服町診療所駐車場への会場の拡張は雨天延期により中止となりました。)
- 不動院跡地と空き家については、今後の有効活用が望まれ別途検討を進める中で、将来の空間利用の可能性について学生さんからの提案がありました。
- 子どもの遊び場は、当該地区の課題であり、一貫したテーマとして継続して取り組む中で、単純な遊び場から地域が担うインクルーシブな環境をテーマとした試みへと深化させています。



くまもと古町地区実証実験〈五感散歩 2024 秋〉
2024 年(令和 6 年) 11 月 23 日(土) 13:00~16:00

ギャラリー

旧五福幼稚園遊戯室天井画
明治 38 年に描かれた
井沢鶴平氏の画を展示します

学食

colorful coffee
凹凸 Tacos
ASIPA
陽月堂

雨天延期による
企画変更に伴い
今回の会場から
外れた

エントランス

きよまさんぽ(まち歩き&スタンプラリー) 受付
学生さんと一緒におしゃべりを
しながらお散歩します
スタンプを集めると参加賞を get !!

研究室

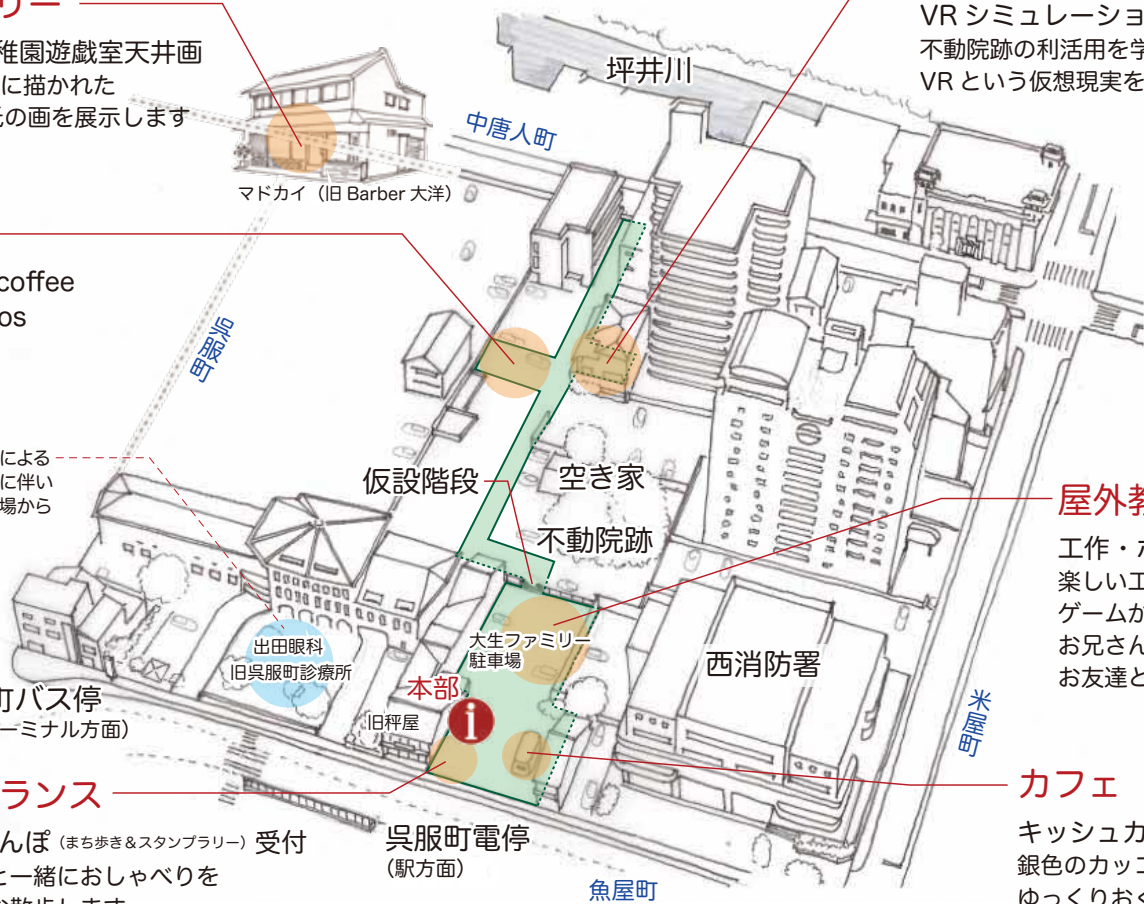
VR シミュレーション・模型
不動院跡の利活用を学生さんが提案します
VR という仮想現実を体験できます

屋外教室

工作・ボードゲーム等
楽しい工作体験やボード
ゲームがあるよ！
お兄さん・お姉さん、
お友達と遊んでね！

カフェ

キッシュカフェ
銀色のカッコいい車体が目印
ゆっくりおくつろぎください



きよまさんぽ／ルーテル大学本田研究室＋有志

唐人町界隈を学生さんが案内してくれました。兄弟や親子で参加いただき、チェックポイントをラリーしながら散歩しました。参加賞として学生さん手作りのオリジナル缶バッジを配布！



塗り絵&射的／五福小学校5年生

五福小学校5年2組のみなさんによる塗り絵と射的。総合の時間やフットパスの授業で作成した成果です。射的の景品は、子ども達のデザインした可愛い木製コースターやポストカード！



工 作／熊本大学教育学部中迫研究室＋家庭科

小瓶の中を飾るハーバリウムや色々なデコレーションをするUVレジン、毛糸ミサンガ&リースを作りました。夢中になって作って、たくさん作って、お母さんやお友達へのプレゼントにも。



ボードゲーム／ルーテル大学本田研究室＋有志

人生ゲームやオセロなどのボードゲームを学生のお兄さんやお姉さんと楽しみました。



音 楽／熊本大学教育学部特別支援

ハンドベルやパーカッションを鳴らしたり、学生さんが曲を誘導してくれたり。アフリカ起源の太鼓・ジャンベは、自然とセッションも生まれ楽しいひと時となりました。



芝生広場／ルーテル大学本田研究室＋有志

ペンタク(青と赤の球を投げて目標の球に近づけるスポーツ)と、囲碁ボール(白と黒のボールをスティックで打ち並べていくゲーム)を芝生の上で楽しみました。



カフェ／キッシュカフェ・休憩スペース

ドリップコーヒーのほか、各種メニューが魅力的なキッシュカフェ。実はモーニングもあります。会場の奥には休憩スペースも設置。アンケートの記入にもご協力いただきました。



飲食スペース／colorful coffee、凹凸 Tacos

タコスとカフェのお店に出店いただきました。いつもは駐車場の場所が、みんなと食事をしながら楽しく話をするリビングのような空間になりました。



VR&模型／熊本大学土木建築学科星野研究室＋本間研究室

古町地区の特徴である街区中央にお寺が配置された一町一寺の町割。その不動院跡地活用への学生さんによる提案を、ゴーグルで見るバーチャルな空間(VR)や模型で体験しました。



五感チップ／KIMOIRIDON

まちづくり活動の資金調達の実験として、今回は利用者様を対象に任意でチップ(募金)をいただきました。ご協力いただいた方には特性のステッカーをお渡ししました。

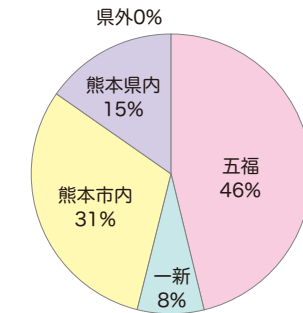


アンケート結果

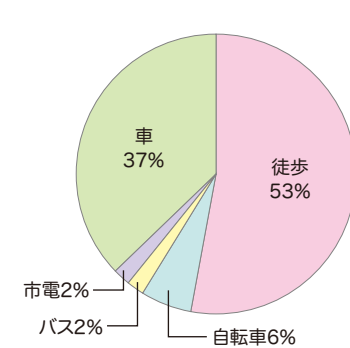
来場者

配布数：83 票 ／ 回収数：52 票

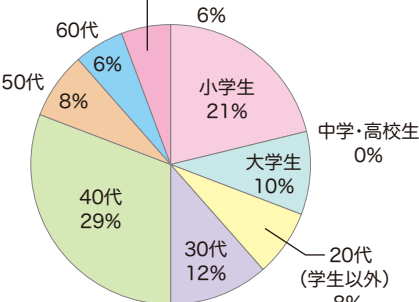
居住地



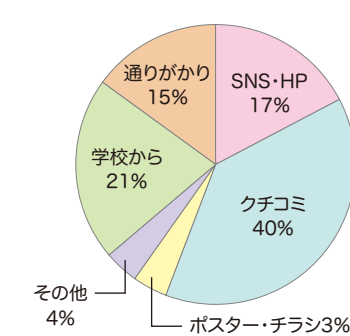
交通手段



年代



知ったきっかけ



- 居住地**：五福校区が 46%を占め一新校区と合わせて過半数を占めており、前回と比べて 14 ポイント増えています。逆に、慶徳校区及び県外からの来場はありませんでした。
- 年代**：小学生が約 2 割となっており前回と同程度の来場割合です。40 代が前回から 12 ポイント増え約 3 割となっており 30 代と合わせて 43%を占めています。
- 交通手段**：五福・一新校区からの来場に呼応して徒歩での来場が過半数を占めています。市内・県内居住者の車利用が多く全体の約 4 割を占めています。公共交通(バス・市電)の利用率は 4%と低くなっています。
- 知ったきっかけ**：実証実験を知ったきっかけは、クチコミ(39%)が最も多くなっています。次いで、学校からのお知らせ(21%)、SNS・HP(17%)となっています。通りがかりでのご来場も 15%を占めています。
- 体験した取組**：屋外教室(工作・ボードゲーム) 27%とエントランス(まち歩き&スタンプラリー) 16%は 40 代と小学生の参加が多く、カフェは 20 代以上の利用が多く見られました。
- 古町地区にほしい機能**：子供の遊べる場所 29%が最も多く、次いで飲食店 17%、休憩できる場所 17%、公園 15%が上位を占めています。「町のあちこちを見て歩きたくなるようなしかけ」というご意見もありました。
- 五感チップについて**：ほぼご賛同いただく回答をいただきました。(後述「検証」参照)

マドカイ／心光寺、KIMOIRIDON

熊本市立熊本五福幼稚園の閉園時に、井沢鶴平氏による遊戯室天井絵(明治38年1月)が西唐人町の心光寺に50枚ほど保存され、その一部を展示しました。



綿菓子&マシュマロ

／urban direction、colorful coffee

アンケートにご回答いただいた方に綿菓子をプレゼント！ また、カラフルコーヒーさんからご購入者にマシュマロをプレゼント、串にさして炭火で焼いて食べるマシュマロは格別！



写真展示／KIMOIRIDON

／別事業「馬場教室フォトクリニック」協賛

写真家・日本大学芸術学部写真学科非常勤講師の馬場道浩氏に撮影いただいた古町地区の写真を展示しました。11月2日には、別事業の「馬場教室フォトクリニック」を開催。

